

矢嶋 翼・岩田 典一・板谷 良久
竹田 秀泰・木村 司

緑 風



矢嶋 翼
議員

★国際リゾート誘致構想で、外国語修得やショー出演のための、人材育成機関が必要との指摘に、インターナショナルスクール、観光・宿泊などのホスピタリティ産業や音楽などのエンターテインメント関連の教育施設設置の考えがあると答弁がありました。

★食と観光の分野で、苫小牧で何を見て・食べ・土産を買うか、市としての取り組みが足りないとの指摘に、先進事例に学び、定番作りに努めると答弁がありました。

★学校周辺や繁華街の防犯カメラの設置増の指摘に、32年度からの防犯カメラ設置5カ年計画の中で、効果的な場所への設置を考えると答弁がありました。



岩田典一
議員

★総務委員会で、公共交通関連事業の報告で苫小牧バス運行連絡会

議について質問しました。

会議の目的は、民間移譲後のバス運行に対し利用者・市民からの苦情を両者で協議し、適切に処理されているか確認し問題解決にあたり、毎月1回開催されております。苦情について、移譲当初から乗務員の対応が悪い、運転が乱暴だ、荒い、停留所への停車位置が悪い、路線の間違いなど年間20件を超える苦情があり、道南バスでは乗務員教育に取り組みなど改善し、現在は年間数件と減少しています。私は、市民サービスの向上に努め、今後も市民の足として安心して乗車できるよう要望しました。



木村 司
議長

★第15回定例会が終了いたしました。議会改革検討会では、苫小牧市議会基本条例素案作りを続行しました。今回の正副議長案は、前文から7章・16条構成といたしました。特に、第2章では基本理念を新たに作り、議会として基本条

例をつくる意義や主旨、苫小牧らしさを表現するものいたしました。また、新たに全員協議会を明記し、市政全般について、議員同士の自由な討論を通じて市政の発展に寄与したいと考えております。

★業務委託業者が除雪作業中に損傷した公園柵の補修費用を、市が全額負担していることを指摘し、市は検討すると答弁がありました。



竹田秀泰
議員

★高齢ドライバー安全対策について運転免許返納後の交通手段のサポートの提案と高齢者の衝突防止等付安全対策車購入費用の助成金制度の提案をしました。

★児童が使用しない時間帯の北栄児童センター活動室・スタジオ・遊戯室について質疑し、10月29日オープン前より一般開放の募集を

行うと答弁がありました。

★市民ホールの民間活力導入について質疑し、7月に説明会を行い9月末まで方向性を示すと答弁がありました。



板谷良久
議員

★子供を産み育てやすい風土づくりと、苫小牧に住みたいと思っまちづくりが、人口減少対策の重要な要素であることに對する市の考え方を質問し、市は雇用の創出が重要であると答弁しました。

★2022年に簡易無線局がデジタル化されることに関連し、民間事業者の更新費用の縮減や、地域活動への利用などの効果が期待される、地域振興無線について質問し、市は情報収集に努めると答弁しました。

★IR（統合型リゾート）に関連した観光振興について、周辺地域における経済効果や雇用の考え方を質問し、市はオール北海道の観光振興拠点である、という考え方を明らかにしました。